

(21) 斐伊川流砂を考慮した低水護岸工法について

建設省出雲工事事務所

富山勲

三村篤敬

白川渙

斐伊川の流水土砂量および移動状況について前回の土木学会で発生したが、この流水土砂の対策としては低水路を設置し、これに河水を集中させることが必要であるが、昭和31年度において、底止水制的な高水敷安定工法およびその頭部工を施工してその効果を測定したので、調査の概要および今後の方針について述べる。